

地域の“声” = 地域の“お宝” 集

第5期松本市地域福祉活動計画
～みんながつながる福祉の取組計画～

《別 冊》



令和8年4月

社会福祉法人 松本市社会福祉協議会

目次

1	はじめに	1
2	地域の様々な“声”	2
	（1）地区社協役員、地区ボランティア等担い手の方の“声”	2
	（2）通いの場等参加者の“声”	15
	（3）高齢者施設等利用者・ご家族・職員の“声”	25
	（4）障がい者の方の“声”	27
	（5）子育て世代のママ・パパの“声”	28
	（6）高校生・大学生等の“声”	32
3	“声”の協力者の紹介	37

1 はじめに

多様性を尊重し、地域共生社会を目指すためには、それぞれの立場の人たちがつながり、互いに助け合うことが大切です。

「第5期松本市地域福祉活動計画～みんながつながる福祉の取組計画～」を策定するにあたり、松本市社会福祉協議会地域福祉課の地区担当職員、地区生活支援員を中心に担い手の皆さまだけではなく、サロン等通いの場の参加者の方、高齢者施設のご利用者やご家族、障がいをお持ちの方や施設職員の方、子育て世代のママ・パパ、高校生・大学生など、地域の様々な方の“声”をお聞きしました。

寄せられた多くの課題や希望、お住いの地域への思いや誇りといった“声”は、地域みんながつながるための貴重な“お宝”です。

この「地域の“声” = 地域の“お宝”集」をご覧くださいと、ご自身が住む地域の“声”と重なる部分があるかと思しますので、地域福祉の参考としてご活用ください。

また、様々な“声”の中には、地域福祉活動に対する「感謝」のことは数多くあります。地域福祉に取り組んでいる方には、それらのことを「励み」にして、今後の活動の糧としていただきたいと思ひます。

この冊子では、松本市社会福祉協議会の職員が地域に出向いて聞き取りをした“声”を紹介しますが、地域福祉活動を推進するためには、そこに住むより多くの方々の“声”を反映させることが大切です。

地域福祉の推進を地域で考えるとき、役員や会議メンバーだけで課題を出し、解決策を検討するということは良くあることかと思ひます。

しかし、課題と思っていたことが実は支援を受ける側の人からしたら、大した課題ではないかもしれません。

反対に課題として議題にもあがらなかったことが、当事者の方からすると、実は切実な課題となっているかもしれません。

それぞれの地区や町会で地域福祉を推進する皆さまには、「する側」と「される側」をはっきりと区別するのではなく、みんなが地域福祉に参加するという視点からも、ぜひそれぞれの地域の中の様々な方の“声”をお聞きすることで“お宝”をゲットしていただきたいと思ひます。



2 地域の様々な“声”

(1) 地区社協役員、地区ボランティア等担い手の方の“声”

ア 地区や町会の強み（地域福祉の得意分野）について

- ・顔が見える関係性ができている
- ・地区の特徴や人を昔から知っているので活動がしやすい
- ・町会住民同士が昔から知っているので、話がしやすい
- ・家族構成や家族状況が把握できるので、話しやすく、活動しやすい
- ・氏名を聞いただけでどこの誰かがわかり、どんな事で何が困っているのかの状況がわかるので関わりやすい
- ・過去の事例や経験を活かし、地域での見守り体制が構築されている
- ・同世代の住民がいる
- ・「ふれ愛」のキーワードのもと、みんなで考えるみんなの地区の意識
- ・まとまりがあり、多くの人が町会運営に興味がある
- ・団結力・結束力が強い！
- ・情報共有ができている
- ・町会連合会を中心にまとまって地区運営ができている
- ・地区内のどの町会も、「自分にできることを何かお手伝いしたい」と思っている
- ・引っ越してきた人を、みんなで快く迎え入れられる
- ・誰にでもいろいろなことを気兼ねなく聞けて、教えていただける
- ・人数が少なくても、「集まろう」とする気持ち
- ・住民のつながりが強い！若い人たちに町会行事への参加を呼び掛けると協力してくれる
- ・40～50代の人が多いので、今後お手伝いをしてもらえそう
- ・役員を中心に各行事の開催など協力してできている
- ・役員さんが福祉への協力や理解（勉強）をしている
- ・町会長を中心として役員のチームワークが強い
- ・役員を継続する人が多く、地域への愛着が強い
- ・役員が終わっても、OBとして協力してくれる人が多い
- ・自分たちでやる！という自立心が強い
- ・先頭に立ちリーダーになれる人が多い
- ・全町会が同じ方向を向いた地域づくりができている
- ・地区社協役員同士、気心がしれているので、事業の企画等に対して良いこと、悪いこと、自分の思いが気軽に伝えられる
- ・地区社協役員として住民の課題把握、課題解決に向けて少しでも役に立ちたい

- ・住民の考え方が前向き
- ・福祉に対する関心や意識が高い
- ・年2回の河川清掃の参加者が多い
- ・町会は住民の細かい情報を聞き取りやすい
- ・町会加入者が多い
- ・アパートを除く住民は、すべて町会に加入していること
- ・アパートを除くと独り暮らしが少ない
- ・学生（信大、深志高校）と連携・交流をすることで、新たな発想と刺激がある
- ・住民に町会の情報が入りやすいように、デジタル化の推進を検討している
- ・町会活動に参加し、関わることで情報が得られる
- ・サロン運営をライングループで、気軽に参加できる
- ・区内で最初に始まり、10年以上継続しているこのサロンが強み
- ・あまり企画を詰め込みすぎず、気軽に参加し楽しんでもらえるサロン
- ・サロン事業は高齢者の集いを目的に始まったが、小さなお子さんとお母さんも参加してくれるようになり、幅広い人たちが楽しめる
- ・お漬物や果物を持ち寄り、みんなで協力してサロンを運営している
- ・各町会のサロン活動が定着して続けられている
- ・オレンジカフェの内容が充実していて参加者が多い
- ・高齢者へのお弁当配食（6月）と蕎麦配食（12月）がある
- ・高齢者を対象としたボランティア活動が盛ん
- ・いきいき百歳体操の立上げ箇所が多く、通える運動の場が多い
- ・百歳体操に多くの人が集まってくれるし、サロンにもみんなが協力してくれる
- ・サロン、百歳体操、サークル活動が充実している
- ・民生児童委員の活動が活発
- ・日赤奉仕団活動が充実している
- ・松本市の健康づくり推進員としての組織は解体されたが、区内で名前を変え、同じ活動内容で継続した。地区・町会のふれあい健康教室の運営に参加するほか、研修会の開催は地区全体に周知して行っている
- ・ボランティア部会、健康づくり推進員が頼もしい
 - 本当に活動の意思がある人を毎年更新。人材バンク的な役割にもなり、災害時にも活かせると思う
- ・地域ケア会議を町会で行っていることで、町会の人たちの困り事の共有ができている（民生委員さんへの情報共有など、他人事とせずみんなが問題意識を持っている）
- ・定例会を開催し、定期的に研修や視察を行い、地区事業の活動団体としても活動している「農村女性協議会」がある
- ・マシンを使ったコーヒーで、登録している“カフェガール”たちが、当番制で公民館の来館者をおもてなししている

- ・家にいると同じことの繰り返しだが、カフェの運営に参加して充実している
- ・昔はいろんな店があった地域なので、それぞれの道のプロがいて何かやる時はその人たちの力を借りられる
- ・既存のグループがあるので、活動の内容を紹介し合い、お互いの良いところを高め合っていければ良いと思う
- ・人が集まり、体を動かす場所がある
- ・決まった曜日に予定して出かける場所があることで、生活のリズムが生まれ、長く地域で暮らすことができる
- ・高齢者が多いが、健康意識が高く助け合いや地域参加に積極的
- ・高齢者が元気！80代でも現役で農作業をしている人が多い
- ・高齢化が他の地区より少しだけ遅いと聞いたので、これから他地区にならい先手を打っていけると思う
- ・地区担当職員と住民の距離が近い
- ・住民のことをよく知っている地区生活支援員がいる
- ・民生児童委員、地区生活支援員の協力
- ・ひろば、公民館、町会連合、町会等のイベントが多く充実している
- ・ふれ健の歌が強み（肺が鍛えられる。伴奏してくれる人がいる）
- ・公民館のイベントや講座など、楽しく学べるものがある
- ・公民館行事への積極的な参加・協力（夏まつり、文化祭等）
- ・ふれあい隊が結成され、事業展開を進めている
- ・地区内の互助の仕組みができている（ふれあい隊、タクシー送迎等）
- ・除雪応援隊がある
- ・防災意識が高く、防災力がある
- ・防災訓練に子どもが参加してくれる
- ・継続的で活発な独自の防災組織がある
- ・コンパクトにまとまった地区なので、町会同士の連携ができている
- ・団地が多い地区なので、狭い範囲でまとまっている
- ・面積が狭くまとまっているので、歩行や自転車での移動が可能
- ・医療従事者が多く住んでいる。介護施設が多くある
- ・環境が良い
- ・松本城の周りの地域であること
- ・温泉があり、観光地であること
- ・特産のブドウで新ブランドのワインを開発し、インターネットを通して海外へ発信する等の工夫をしているところ
- ・“お舟祭り”という伝統的な行事が継続して行われている
- ・地区内の花火大会があることで、人が集まり賑わう
- ・こどもの居場所、遊び場や関係施設が多い
- ・公園がきれい、きれいにしてくれるボランティアがいる

イ 地区（町会）のお宝だと思うもの・ことについて

- ・全員が役員を引き受けてくれる
- ・困ったことに対して動いてくれる人が多い
- ・支援者になっても良いという方々が多くいること
- ・地区の役員等が終わった人でも、継続していろいろな行事に参加している
- ・町会の行事や作業に全員参加する
- ・町会のまとまり、団結力
- ・人と人とのつながり、まとまり
- ・人情が厚い
- ・町会に長年住んでいる方が多く、顔見知りであること
- ・町会をまたいでも、人と人とのつながりが強い
- ・住民の活気、積極性
- ・周りを巻き込むリーダー
- ・隠れた才能、技術のある人が多い
- ・隣近所のつながりがあり、買い物など一緒に誘い合うことができる人間関係
- ・仲間と良い付き合いができ、何でも話せる環境
- ・同世代のつながり、近所づきあい
- ・高齢者クラブのつながり
- ・民生委員・児童委員の活動が盛んで、人と人とのつながりができている
- ・公民館で卓球が自由にできる。卓球クラブを通じた人のつながり
- ・壮青会（壮年の世代が子どものために活動）
- ・そば打ち研究会（30代～90代のメンバー）
- ・蕎麦同好会
- ・松岡みのりの会（毎回30人以上の参加者 歌、体操ゲームで交流）
- ・婦人会のつながり
- ・移住者が多く、新しい風が入っている
- ・積極的な各種団体活動
- ・ボランティアの人数が多く、活動内容も豊富で盛ん
- ・居場所（カフェすいれん）
- ・サロン（ひまわり）
- ・この会（太子堂町会サロン）
- ・上土カフェ
- ・夏休みのラジオ体操
- ・町会の中心地でラジオ体操を実施している。また、5月～10月までは毎週ウォーキングを企画し、健康促進につながっている
- ・地区社協の存在
- ・地区生活支援員が主導している移動販売
- ・ひろばの活動が盛ん（世代を超え、男女が集まって楽しめる）

- ・子どもやお年寄りの相談ができる保健センターがある
- ・エコプラザ、ふれあいセンター、町会公民館、福祉ひろば、体育館、公民館等
- ・新しい町内公民館
- ・地区公民館のつながりで、様々なサークルがあり、盛んに活動している
- ・町会内でのサークル活動がある
- ・各種サークル活動が活発
- ・地区・町会事業の運営に協力する日赤奉仕団組織
- ・桜寿祭、夏祭り、文化祭、体育祭等の地域行事
- ・「めだかの学校」(生息地保護活動)
- ・「お茶会を楽しもう！」で始まった会が、時には自分たちのやりたいこと、知りたいこと、困りごとについて専門家の話を聞いたり、皆でランチに行くなど発展し、交流の場となっている
- ・里山で大人が遊ぶ会
- ・かかわり隊
- ・地域の団体として有償で活動している“カフェガール”たちは、少額だが手当が出るのが心の張り合いになっている
- ・90代の方々が、元気で生き生きしている
- ・長寿(100歳以上)の方が一番多い
- ・信州大学が近く、学生が多い
- ・地域の子どもたちが宝
- ・地域の子どもに「おかえり」「気を付けて」等の声かけをしている
- ・ボランティア精神(高速道路周辺や河川の土手のごみ拾いをしている人がいる)
- ・時代に合わせた変化の意識
- ・地質的に安全な所
- ・「安否確認タオル」を活用した町会独自の防災訓練
- ・継続している防災訓練で培われた、隣近所での防災意識の共有
- ・城北かるた
- ・活動拠点整備、住民主体の運営組織を構築、住民コミュニティ形成に向けた取り組みを実施している
- ・国宝松本城とそれにつながる風景
- ・松本城、旧開智学校などの文化財がある
- ・城下町の土蔵、大正ロマンの街並み
- ・たくさんの井戸
- ・歴史文化財が多く、修繕等保存にも積極的
- ・道祖神、橋倉城址
- ・町会内のお稲荷様の風景と散策コース
- ・自然豊かで空気がきれい
- ・星がきれいに見える

- ・松本駅方面の夜景がきれいに見える
- ・田園風景
- ・西原町会から見える安養寺のしだれ桜
- ・のどかな環境が良い
- ・女鳥羽川沿いの景色
- ・天狗の滝
- ・野麦峠スキー場と観光客
- ・ウォーターフィールド（ウォーキングや仲間づくりの場になっている）
- ・芥子坊主山のキャンプ場と景色が良い
- ・北アルプスが見える風景
- ・アルプスの全景が見える地域
- ・浄化センターの公園などがあり良い所
- ・ボランティアが維持・管理しているきれいな公園
- ・公民館前の花のプランター
- ・神社のお祭りなどの伝統行事がしっかりと継承されていること
- ・お祭り等の行事の際には、地区外で暮らす若者が地元に戻って参加するところ
- ・お祭りが多く、たくさんの住民が関わっている
- ・7年に1度の御柱祭り
- ・獅子舞
- ・太鼓や歴史研究会
- ・住宅地のため文化財や自然は少ないが、将来のために住民が協力している
- ・人の流れ、関係人口の多さ
- ・おしゃれなカフェや店、おいしい店が多い
- ・老舗
- ・塩川さん（アイス）のお店
- ・松本駅と松本城を結ぶ道沿いに地区がある
- ・松本駅から約5kmという立地でありながら、松本平を見渡せる
- ・今後の発展が見込める新興住宅地
- ・スーパーが近い
- ・農産物直売所（果樹部会のつながりは元気がもらえる）
- ・医療機関が充実している
- ・病院の選択肢が多く、バス停も多い
- ・コンパクトにまとまった地区
- ・歩いて地区内を移動できる
- ・交通（路線バス、のるーと）の充実
- ・ひろばや体育館が地区の真ん中にあり便利
- ・海外の観光客が多いこと
- ・町会財政が裕福

ウ 地域の課題や新たに必要と思われる取組みについて

- ・さらなる高齢化、高齢者問題
- ・支援する側もされる側も高齢化が進んでいる
- ・高齢化に伴い、住民が集まる機会・行事が少なくなっている
- ・高齢者が増え、対応することが大変になってきている
- ・高齢者が、気軽に自分の悩みや課題について、相談やお願いができる体制づくりが必要
- ・介護が必要な家庭が増えること
- ・認知症の方の増加
- ・高齢化や戸数の減少により、町会の班の再編成も必要になってくる
- ・ここから10年たったら恐ろしい（人口減少と高齢化）
- ・孤独死があること。何か対策はないか・・・
- ・独居高齢者の孤独死後の対応を検討する費用や、研修会があれば良い
- ・独居高齢者が多い → 見守りやサービスの充実を進めたい
- ・閉鎖的な老々世帯等の課題が表面化しづらい
- ・高齢者等が「助けて」と言いやすい見守りネットワークづくり
- ・高齢者も一緒に取り組める地域・町会活動
- ・年配者が若者に教えるイベントを考える
- ・全世帯数における高齢者が占める割合が高く、高齢により足腰が悪くなったり、運転免許を返納したりで、外出の機会が少なくなっている
- ・町会の催しがあっても、坂を登って公民館に行くのが困難
- ・福祉ひろばでの楽しい行事に出席するのに、遠いので送迎が必要
- ・福祉ひろばから遠い人は、タクシー事業があっても気軽に行けない様子が見られる。近くの公民館を憩いの場にできると良いと思う
- ・歩いていける公民館を使って、月1回でもお茶会などが開けたら良い
- ・免許返納者の増加による高齢者の買い物、病院等への移動困難
- ・住民が集まる際の“足”（移動手段）をどう確保するか
- ・公民館から遠い人たちは、そうは言っても来ないよ
- ・公民館行事に参加できない、来られない高齢者との関わり合いも必要
- ・歩いて行ける範囲に買い物ができる場所がほしい
- ・近くにお店がない（商工会もなくなってしまった）
- ・地域バスの充実
- ・新型コロナウイルスの影響で、隣近所の関係が希薄化した
- ・マンション住人と古くからの住人との関係が希薄で、地域行事等への参加促進が課題
- ・お隣同士のお付き合いがない。コミュニケーションが不足
- ・町会住民の交流の場がなかなか持てない
- ・常会単位の集まりがない

- ・町会未加入者が目立ってきた
- ・移住者が多い町会のため、他町会とのつながりが希薄
- ・地区として閉鎖的な部分がある
- ・歴史の浅い地区なので、愛着が薄く地区のために何かしようという気持ちが少ない

- ・隣組の支え合いを大切にしたい
- ・戸数が少ないので、役員の選出が大変
- ・会員の高齢化が進んでいるので、後継者の育成が急がれる
- ・70代でも働いている人が多く、町会運営をどうするか
- ・役員のなり手不足、世代交代 → 役員の負担軽減と分散化
- ・役員の引継ぎ（若返り）の難しさ
- ・役員になりたがらない。負担が大きい。やることが多い
- ・担い手が代謝するしくみづくり
- ・外から越してきた方などは公民館の敷居が高い
- ・新しい人（転入者）や次の世代との交流をどうするか
- ・中年層（40代・50代）が地域活動に参加していない。関心がない、関心が薄い

- ・30～50代の地域活動への取り込み
- ・若い人が、役員・地域事業から離れている。興味を持ってもらいたい
- ・若い世代は共働きが多く、町会活動に関わる余裕がない
- ・新しく家を建てた若い世代が近所にいてもわからない
- ・従来住んでいる皆さんと、新しく入ってきた人との融合・関わり
- ・若い世代の町会行事への参加。町会との関わりが少ないので、関心を持ってもらえるように、何か取り組みができれば良い
- ・（会の）加入率が低く、高齢化が進んでいるので、組織を維持するのが大変になってくると思う
- ・役員会を開催して、何か困った事を色々こちらから提案しても感心を示さない
- ・住民からの課題や思いを収集したい
- ・既存の行事や活動を継続すること
- ・男性がいない世帯が増え、農作業、薪づくり、草刈、町会作業、除雪など男性が行っていた作業が困難
 - 女性もできるようにする、手伝い合うしくみづくりや地区外の家族の支援を促すことが必要
- ・町会同士で助け合える組織づくりと、そのための地域行事の見直し
- ・地区内の計画を柔軟に考えていく必要がある
- ・民生委員と隣組等の連携 → 誰か一人に任せない組織づくり
- ・マンションの住人や地区外の人を取り込んでの「単発ボランティア募集制度」を構築したい

- ・つながりを作るためのグループづくり
- ・今までつないできたものを、どう次世代につなぐか・・・
- ・ボランティアの高齢化。活動できることに限りがある
- ・ボランティアのメンバーをどうやって増やすか・・・
- ・日赤奉仕団員は各町会から団員を選出しているが、働いている人が増えてきたため、日中の会議や研修会への参加が限定されてしまう
- ・新しい“カフェガール”たちの登録が必要
- ・高齢化率が高い地区なので、健康づくりサポーターによる健康についての情報案内や知識は必要になる。2年任期の委員の選出は、だんだん難しくなっているが、継続するよう望まれている
- ・リーダー的人材を見つけること
- ・送迎ボランティアが続いていくかどうか。人材確保が課題
- ・健康づくり推進員が廃止になり、連合会の福祉部もなくなるため、役割をどこで担うか？体力づくりサポーターに担ってもらいたいが、そのためには新規の体力づくりサポーター募集も必要
- ・文化的な活動をしたいが、関心が薄く人が集まらない。どう魅力的に進められるか・・・
- ・町内公民館のサークル活動が以前は充実していたが、高齢化とグループの固定化で衰退してきている。新しい取組みをどうするか
- ・活躍をしている方がいっぱいいるので、点と点をつないで地域のために得意な分野で活躍してほしい
- ・地区内に多様なグループがあるが、それぞれの活動の情報が少なく、交流もないので活動がわからない
- ・住民が参加したいと思えるイベント → 負担感なく集まれる企画
- ・せっかく大学が近いので、大学のボランティアサークル等を担い手として、地域のニーズとマッチングできたらいいのではないかと思う
- ・町会に関心を持ってもらいたい
- ・次々と新しい人が入ってくるので、交流しながら町会の雰囲気伝えていきたい
- ・住民への情報発信方法が難しい
- ・町会活動等に参加してもらえるような魅力的な地域発信
- ・町会の必要性や町会費の理解啓発のための発信
 - 「何をやってるの？」の説明
- ・町会を紹介するためのパンフレット作成
- ・公民館やひろばの団体活動の低迷 → 知らない人への周知
- ・サロンがない町会の立ち上げ支援・声かけ
- ・子どもたちのサロン参加を促したい
- ・近所のサロンが嫌というケースもある
- ・ふらっと行けて集うことができ、気軽に相談できる場所づくり

- ・ 地区全体が集まれる敬老会を開催したい
- ・ 行事の参加者が固定化しているため、新しい参加者の呼びかけ
- ・ 色々な計画をしてもなかなか参加者が集まらない
- ・ 世代を超えた取組みや集い
 - 役員が待ちではなく、自ら飛び込んでいくことも必要
- ・ 少子化、人口減少
- ・ 子どもが少ないため、子育て支援の場やサービスがほとんどない
- ・ 単身世帯をケアする取組み
- ・ 潜在的に困っている方が多いのではないか・・・
- ・ 空き家問題
 - 近所のつながりを大切にしながら新しく入ってくる住民が町会の取組みに参加できるしくみづくり（強制はしない形で）
- ・ 市営、県営住宅の立て直しに伴う人口流出、既存のコミュニティのリセットも必要か・・・
- ・ 人口が減る町会での見守り体制の再検討
- ・ 空き家、空き地の問題をどのようにするか・・・
- ・ 住宅移転後の跡地利用
- ・ 畑があってもやり手がなく、荒れている土地がある
- ・ 災害時の対策、対応
- ・ 山がそばにあるので、火災が発生した時の防災について防災部で検討すること
- ・ 高齢者の防災対策
- ・ 有償ボランティアによる生活、困り事、家事、相談などのサポートが必要となってきたが、ノウハウが必要となるので、各地区独自の有償サービスに特化した助成事業と事業の進め方マニュアルがあると良い
- ・ 有償サービス事業継続のための資金的支援が必要
- ・ 活動資金不足（環境整備費等）
- ・ アイディアは色々あるが、お金のかかることは難しいになってしまう
- ・ 全戸対象の募金（日赤・共募のあり方について、改善できる方法を探ること）
- ・ 活動の質の向上（特にソフト面）
- ・ 公民館がない町会で地域活動の拠点をどうするか
- ・ ゴミ出し問題
- ・ 雪かき
- ・ 有害鳥獣による被害の拡大 → 啓蒙活動が必要
- ・ 古くからある店の後継者がいない
- ・ 地区に目立つものがない。これが売りというものがない
- ・ 地区内の北と南の違い
- ・ コロナの影響で地区（町会）の行事等が少なくなり、いまだ復活できていない

エ この先5年間の目標等について

- ・高齢者に配慮したイベントの継続
- ・きめ細やかな高齢者福祉事業のあり方と実践
- ・ますます高齢化が進む中で、お互いの健康状態や困り事など、気楽に話ができる機会と場がほしい
- ・通いの場として、今は独居高齢者を主に対象にしているが、これからはそれ以外（高齢者ご夫婦や新規参加者）の方も対象にしていけたら。また、参加人数を増やしていくためにも、ボランティアのメンバーを増やすなど、高齢者が楽しく食事し、コミュニケーションが取れる場所として続けていきたい
- ・高齢化しても暮らしやすい地域づくり
- ・高齢者の福祉の充実
- ・認知症とどう向き合っていくのか
- ・ゴミ出しなど、町会としてどう支援できるかの検討
- ・5年後後期高齢者が800人、独居も増えていくため、個人情報の共有をしていく必要がある
- ・役員の平均年齢を60代に世代交代したい
- ・人材づくり → 「人」を作っていけるか
- ・担い手・後継者育成
- ・役員について順番制に移行する
- ・町会役員のなり手が少ないので、働きながら役員ができるようなしくみづくりをしたい
- ・若い人等が、働きながらでも役員として活躍できるようなしくみづくり
- ・町会として、次の役員選出や、10年後の役員選出について、新しい人（若い世代）に引継ぎしていく
- ・新しい風（担い手）を入れる
- ・活動を継続していけるように、新しい会員を増やして地区ボランティア組織として頑張っていきたい
- ・各町会からの選出が難しくなったとしても、ボランティア団体の一つとして組織は残していきたい
- ・町内に暮らす若い世代の人たちに協力してもらい、町会運営を見直す
- ・地域とあまり関わってこなかった人も入りやすい地域づくり
- ・リタイア前から、町会の活動を知ってもらう
- ・地域福祉は雇用制度にして、人を雇って地域密着させる
- ・町会は、このままで良いのか。新しい人は増えないし、合併なども考えても良いのではないか
- ・人口増のための方策
 - Uターンできる地域環境整備、婚活パーティー等の開催
- ・子どもが一人でも多く誕生するように

- ・子どもを大切に見守っていく
- ・子育て世代とのつながり、連携
- ・若者が参加しやすいイベントの立案
- ・小・中学生時代から地区行事に参画しやすいしくみづくり、イベント企画
- ・子供のいる家庭の方々が、もっと町会に参加して新しい意見で引っ張ってくれるとうれしい
- ・子どもに関する取組みを進めて「地域でこどもを育てる！！」
- ・サロンを通じて特に30～50代の人に、町会への関心を持ってもらいたい
- ・少しずつ新しい参加者を増やす（サロンの充実）
- ・地区内のいろいろなサロン実施者をつながりたい
- ・地域共生社会の更なる展開に向けた対応
- ・多世代が協力する体制づくり
- ・小さい子供から高齢者まで、集える機会ができれば良いと思う
- ・より多くの世帯の町会行事などへの参加を希望している
- ・若い世代が、町会活動等に一緒に参加してくれること
- ・新生児から高齢者まで、年代に合わせた支援と啓発活動のための交流会の開催
- ・幅広い世代と一緒に楽しめることをやっていきたい
- ・みんなの居場所をつくり、住みよい地域、心配のない地域にする
- ・町会の中で気軽に集まる場所や機会が増えること
- ・いろいろな活動をとおして、声かけをし底辺を広げていく
- ・共助のための組織づくり
- ・「向こう三軒両隣」の復活
- ・地域のつながりを図れる行事を計画し、定着・継続させる
- ・住民の困りごとを見落とさず、住民自らが助けてと言える地域づくり
- ・「助けてほしい」と声を出しやすい地域づくり
- ・安心・安全な生活環境づくり
- ・「安全安心なまち・住み続けたいまちづくり」を推進
- ・社会福祉における災害への対応
- ・防災運動会
- ・災害時の避難について、地区の避難所が3か所あり世帯数も多いので、それぞれの避難所で訓練を行い、多くの住民が関わることで災害への意識を高め、災害に強い地区にしたい
- ・防災備品の準備確認（用意できているかを定期的を確認できる体制づくり）
- ・ささえあいマップの推進
- ・常会単位の防災マップ（各家庭の弱者を誰が助けるのかまでの具体的なもの）
- ・町会加入者の増強。ただし、加入は義務ではないのでどうアピールするか
- ・町会が維持してほしい（高齢者が多くなるので、難しい・・・）
- ・集まる会が盛んになってほしい

- ・今のみんなが楽しんでいる活動の状況を保つ。維持する
- ・ボランティアの会員は高齢者が多いが、今後も無理せずに、できることをやり続ける
- ・高齢になったから退会するのではなく、顔を出すだけでも良いという雰囲気づくりをしたい
- ・現状の活動の継続・維持
- ・放送設備設置
- ・デジタル化への対応
- ・町民へのお知らせなどのデジタル化（ホームページなど）
- ・マンション掲示板の活用
- ・多くの人々が「知る」工夫や広報
- ・観光地としての地域活性化
- ・伝統行事の継続
- ・公園がほしい
- ・強みをいかしたまちづくり。医療と福祉の連携、しくみづくり
- ・名人による漬物教室
- ・いつまでも活動ができるように体を動かし体力維持
- ・仲間づくり
- ・大学等との連携
- ・オンデマンドバスの充実
- ・不登校、ひきこもり支援
- ・できることは続けるが、できないことはきっぱりやめる
- ・課題解決に向けた地域づくりを行政や専門職と一緒にやる

(2) 通いの場等参加者の“声”

ア 通いの場に参加しての感想や、参加する理由等について

- ・百歳体操をきっかけに体を動かす意識を持つことができた
- ・健康のため、社会参加の機会、絆を深めている
- ・健康を維持して、名前のおり100歳まで元気に過ごしたい
- ・とても気持ちが良い。運動不足解消になる
- ・体力や筋力を維持・強化できる
- ・身体を動かすことでリラックスでき、介護予防にもつながる
- ・普通の畑仕事とは違う体の部分を動かすことができる（百歳体操の参加者）
- ・体操が自分に合っていると感じて参加している
- ・歩いて行ける場所で、（エルダー体操で）気持ち良く体を動かせるし、おしゃべりも楽しい
- ・ゲーム、運動等、身体を動かすことで仲間が増えた
- ・参加者全員で楽しめるクイズや、体を動かすことが楽しくて来ている
- ・健康と体力維持、認知症予防のために参加している
- ・顔は知っていても、なかなか話す機会がなかった方ともお友達になり、和やかな雰囲気の中で体操することが毎回楽しみ
- ・スカットボールなど、体を動かすことが楽しい
- ・ゲーム、体操ができ、情報も入ってくる
- ・好きな歌を大きな声で歌えて、楽しいし元気になれる
- ・先生の歌を聞きたくて参加
- ・昭和の歌を歌える
- ・身体は思うように動かないが、通い続けることが大切だと思う。終わった後の茶話会は、皆さんの明るく楽しいお話に仲間入りできてとても楽しい
- ・一人暮らしで声を出すことが少ないのでうれしい
- ・参加すれば話し相手がいるから良い
- ・仲間と話をすることが楽しい。元気になる
- ・みんなで集まってしゃべったりできることに意味がある
- ・近況を聞いたり話したり、みんなとの会話が良い
- ・月1回みんなの顔を見て、話して笑うことが何よりの健康法。ずっと続けたい
- ・家にいても誰も来ない、誰とも話さない日が続く寂しさは1人になってみないとわからない。話して笑うことはいいね
- ・県外からの移住者の参加もあって、話題も豊富で楽しく参加している
- ・おしゃべりを楽しんだり、たまに自分の得意なことを皆さんと共有できることが良い
- ・仲間に会えて、顔を見られるのでうれしい。おしゃべりも楽しい
- ・皆さんと会って賑やかにお話ができることは、楽しみだし励みにもなる

- ・みんなで笑ったり、話したり、体を動かしたりが良い
- ・おしゃべりや体操、歌を歌うことで元気になる
- ・毎週決まった時間に開いているので、参加しやすいし楽しい。行き帰りの近所の方とのおしゃべりも楽しみ
- ・昔一緒に働いた仲間に誘われ、毎週、迎えにまで来てもらい、お茶を飲みに行くことが今一番の楽しみ。毎回昔話に花が咲いている
- ・めったに会えない人に会えるのが楽しみで参加している
- ・手作りのお菓子と美味しいコーヒーが出る喫茶店。ハーモニカを吹く人、それに合わせて歌う人、いろいろな人がいて楽しい。時には悩み事を話す人もいる
- ・顔なじみや友人に会える
- ・仲間がいたから参加している
- ・仲間ができた。知り合いが増えた
- ・仲が良いから
- ・1人でやるのはなかなかできないが、みんなでやるとできる
- ・誘われてから良く参加している
- ・友達に誘われて、初めて参加したが、体操にゲームに楽しいひと時を過ごすことができるので、今後も参加したい
- ・自分のことを心配してくれる仲間に会えるから参加している
- ・仲間と心配し合っていて、会えると安否確認できる
- ・認知症講座など、自身の認知症予防や介護予防になるので良い
- ・脳トレの効果がある
- ・全員で楽しめるクイズなど、一体感が出て1つになれるので楽しい
- ・フレイル予防、孤立化防止等のため気軽に参加できる
- ・毎月1回、お茶会だけでなく、地区生活支援員、ひろば職員による体操や脳トレ、ゲーム、歌も楽しい
- ・いろんな企画があるので楽しい
- ・いろいろな体験ができてわくわくする
- ・レクリエーションが楽しみ
- ・月1回、出席することが楽しみで張り合いがある
- ・楽しくて生きがいになっている
- ・皆さんから元気をもらっている
- ・明るく元気で暮らせる
- ・心の拠り所であり、みんなと会える楽しみがある
- ・人とのつながりに幸せを感じながらのひととき、参加者の皆さんの笑顔に元気をもらっている
- ・仕事を辞めてから行く場所がなかったが、ここが居場所となり、知らない方とも知り合いになる機会が増えて楽しみに参加している
- ・楽しい！それが続けて参加する秘訣

- ・いろいろな方と知り合えて、地区の行事も知ることができる。外に出る機会も増え、楽しいことが増えた
- ・週に1回決まった所に出かけることは、生活のメリハリ・リズムができた
- ・何を着て行こうかと、おしゃれにも気を使うようになった
- ・車の運転もままならなくなり、出不精になった今、歩いて行けるサロンは朝から身支度をして、その日だけ生活のリズムが戻った気がする
- ・内容よりも、仲の良い仲間と一緒にやるのが楽しくて参加している。だから、ここでしか料理はしない。家では一切しない。(男性料理教室の参加者)
- ・健康を維持するための食生活を一番に考えるようになった
(男性料理教室の参加者)
- ・1人で作るのも良いが、仲間同士で会話しながらの料理は楽しくてより美味しい
(男性料理教室の参加者)
- ・地元の人と一緒に料理作りや試食を楽しむことはもちろんだが、四方山話や野菜作りのヒントを教えてもらうこともとても楽しみ(男性料理教室の参加者)
- ・いろいろなレシピを教えてもらい、家で家族に喜んでもらえることが嬉しい
(男性料理教室の参加者)
- ・参加者同士で、おやつをあげたりもらったりがうれしい
- ・お料理も覚えられる(差し入れの漬物など)
- ・月に1度みんなに会い、マレットゴルフをしてお昼を食べて、夕方までおしゃべりするのが楽しみ。8年目になるが、月に1度のこの会が張り合い。いつもつながっているの、何かあったらすぐに相談もできる
- ・同級生に会える
- ・同世代の人たちとの交流ができて楽しい
- ・地区の皆さんや大学生と一緒に楽しめる
- ・普段関わることのない年代の方と関わるので楽しい
(大学生の参加者)
- ・町会での事業やお楽しみが減らされ、人と会うことが少なくなった今、サロンが唯一の楽しみ
- ・家に閉じこもっていると体を使わないので、交流も兼ねて良い
- ・コロナからなかなか会えない、話せないことが続き、近所の人でも交流が途絶えていたので、サロン開催はとてありがたう嬉しい
- ・手仕事が好きなので、みんなで同じものを作り上げるのが楽しい
- ・勉強、料理、手芸などいろいろなことをするのが良い
- ・折り紙をやる時は、参加しづらい。他の内容を組み合わせてやってもらいたい
(男性の参加者)
- ・ずっと押入れにしまっていた趣味の写真を定期的に飾ってもらえてうれしい
- ・免許返納後、歩いて通えるひろば事業を楽しみにしている
- ・送迎してもらえてありがたい

- ・来たら抽選して席を決めるのがいい（知らない人とも会話できる）
- ・雰囲気が良い
- ・通いの場に参加している方は、前向きな方が多いと感じている
- ・人生の勉強になる。自分の知らない情報が聞ける
- ・参加型の事業だから良い
- ・以前、民生委員、保護司をやっていたのでイベントを知っていたから
- ・気軽に集える活動をしたいという希望から、「木曜会」が毎週開催されている
- ・他の町会ではどんな活動をされているのか知りたい。他町会でもいきいき百歳体操はやっているのか？
- ・地区生活支援員さんに会いたいから参加している
- ・地区生活支援員さんと話ができる。情報を教えてくれる

イ 住んでいる地域の良いところ等について

- ・病院、景色、歴史文化等、恵まれた地域で最高～
- ・人のつながり、まとまり
- ・ご近所同士のつながり。仲が良い
- ・人々の穏やかさの中で助けられることもあり、前向きに生きる勇気を与えてくれる事も多いにある
- ・地区の地元の人々との絆を大切にしている。コロナ禍があり、その間に中断した地元の祭り、イベントも戻りつつあるものの、まだまだ寂しい思いをしている
- ・何かあると仲間にすぐ助けてもらえる
- ・小中学校や病院が多い
- ・静かな住宅地でもあり散策するのに良い
- ・お店や病院が近い
- ・車さえあれば小・中学校、高校、病院、スーパー、郵便局等全てが近くにある
- ・小さい町だけど、スーパー、ATMなどがまとまってあるから便利
- ・市内中心地へのアクセスが良い
- ・渚ライフサイトがあり便利
- ・昔からの付き合いがあり、面倒見が良い人がいてくれるところ
- ・良い意味でおせっかいなひとがいてくれる
- ・気持ちの良い人が多い
- ・人が良い
- ・世話を焼いてくれる人がいるので、一人暮らしでも安心
- ・隣近所のきよりが良く、男性の参加も多い
- ・皆さん、優しく仲間づくりをしてくださりうれしい
- ・毎月1回、顔を見ておしゃべりすることで体調もわかるし、もしもの時助けてもらえる
- ・人と人とのコミュニケーション

- ・隣近所のお裾分けの習慣がある
- ・近所の助け合いで雪かきや買い物への送迎ができていてすごい
- ・みんな顔見知り
- ・不便が多いが工夫しながら生活している。生活の知恵がつく
- ・景色は良いし空気も良い
- ・緑が多く景色が良い
- ・芝沢小学校の通りから乗鞍岳が見える景色
- ・米、野菜が採れて美味しい
- ・食べ物（果物）が美味しい
- ・保養地で温泉があること
- ・豊かな自然、のどか。
- ・自然が多くて空気も景色も良い。歴史あるすばらしい神社等もある
- ・夏、日中は暑くても、朝夕が涼しく過ごしやすい
- ・環境が良く暮らしやすい
- ・同じ時期に引っ越してきたので、ご近所との仲が良い
- ・いつもの顔ぶれが見えないと、近所の方が連絡を取って様子を聞いたり、100歳体操の集まりが見守りに役立っている
- ・町会でお茶飲みをやろうとなったこと
- ・はつらつ会に参加することで、いろいろな話が聞けるし体操も楽しく気持ち良い。エルダーを使った脳トレも面白い
- ・町会の集まりで、皆さんに話を聞いてもらいアドバイスをもらえること
- ・仲間が声をかけたり、誘ってくれたりするところ
- ・いろいろな行事に声をかけて誘ってくれる人が多い
- ・住宅街なので静かで良い。閑静な町会
- ・ほど良い田舎
- ・松本城、コンビニ、病院
- ・歴史・文化
- ・神社のお祭り（山車が6台、お船の山車が1台）
- ・お神輿がある
- ・窪田空穂記念館
- ・地区内にお寺がたくさんある
- ・お塚がある（戸田家のお墓）
- ・100数年の歴史があり、岡田神社等に触れることができる
- ・歳を重ねても利便性が良いから安心だ
- ・公共交通（バス）の利用が便利
- ・スーパーが少し遠いが、バスが多く駅も近いので助かる
- ・お店が無くなってしまったが、移動販売車や支所でのパンや野菜等の販売で助かっている

- ・お店や病院など、生活に必要な場所等が地区内に揃っていて便利
- ・免許返納したので、公共交通機関や100円バス助成はありがたい
- ・新しい住宅が建ち若い人たちが増え、人口が増加している
- ・移住者が多く住んでいて活気がある
- ・他県から引っ越してきたが、受け入れてくれる人が大勢いて、分け隔てなく接してくれる
- ・人柄が良い方が多い
- ・民生委員さんが親切なので安心
- ・民生委員の力が大きい
- ・一人暮らしなので、民生委員さんの訪問はありがたい。心配なことも多いが、ご近所や仲間がいてくれるので安心
- ・体力づくりサポーターがしっかり活動していてありがたい
- ・サロンがみんなの集まる憩いの場になっており、気軽に色々な情報共有をできるところが良い
- ・いきいき百歳など、町会で行事を一生懸命してくれるのでありがたい
- ・町会の行事に参加するようになって、楽しいことが増えた
- ・イベントの開催が盛ん
- ・町会で行事をしてくれて、楽しく参加できている
- ・公民館行事が盛ん
- ・福祉ひろばに通って地区の方と知り合いになれた
- ・高齢化が進み町会活動等も縮小されているが、夏まつりは大勢の人で賑わい、のど自慢大会など新しい催しで盛り上がった。若い人の参加もあり、年に2～3回はやってほしい。特にキャンディースが良かった！今度はピンクレディーもお願い♪
- ・カラオケの会がある
- ・百歳体操や散歩など、高齢者向けの催しが多い
- ・みんなが仲良しであること
- ・若妻会のときから、今もつながっていられるところ
- ・大きな災害がなく暮らし続けていられるところ
- ・年齢問わず、挨拶ができる
- ・皆さまの受け入れ態勢があってうれしい
- ・災害がない。少ない
- ・防災訓練がしっかりと続いている
- ・インフラが揃っている
- ・子どもをとおして地域になじむことができた
- ・町内別の行事で、引っ越してきた住民も関りができる
- ・住めば都・・・50～60年住んでいれば良いと思える
- ・市外に引っ越したが、今でもこの地区の集いに参加している

ウ 地域で住み続けるうえで心配なこと等について

- ・病気や体力の低下
- ・独居のため病気の事
- ・病気や体力の低下はもちろん、夏の草刈りは容易ではなく、不安なことが多々ある。加齢とともに困難になってきた
- ・介護が必要になってきた時が不安
- ・運転できなくなっからの交通手段や生活が心配
- ・今後、運転免許の返納をしてからのことが心配。のる一との乗り場も距離がある
- ・のる一との金額が高い
- ・通院や買い物の足
- ・車の免許を返納したいが、車がないと生きていけない
- ・免許返納後の生活
- ・バス停までが遠い
- ・バスの本数が少なく、バスで出かけると一日がかりになってしまう
- ・交通の便が悪い
- ・移動手段（足）がない
- ・地区公民館でやっているオレンジカフェにはなかなか行けない
- ・町会のいきいき百歳体操やサロンなど、近い人は参加できるけど、家が遠い人は参加できない。車で送迎してもらえたらうれしい
- ・大きな病院が遠く、大病をしたときが心配
- ・歩いて行ける範囲に図書館がない
- ・スーパー等のお店が遠く、買い物が不便
- ・JAの金融機関があるけど店がない。店を復活してほしい
- ・衣類品の店が遠くて不便
- ・河川が多く、水害が心配
- ・いざ災害が起きた時、誰が助けてくれるか・・・
- ・山が多いので、大雨などの災害が不安
- ・防犯面が不安
- ・一人暮らしが多くなっているので不用心
- ・高齢になり、何かあった時、どこに相談したら良いか連絡先がわからない
- ・若者、子どもが少ない
- ・世代交代で若い世代の人たちとの関りが乏しく、町会行事の参加が少ない
- ・年寄りから若者に話しかけづらい・・・「また同じ話だ」と思われたくない
- ・町会に興味のない人が多い。役員をやらない人が多い
- ・町会役員の高齢化が進み、役員のなり手がなくて心配
- ・町会の高齢化等もあり、脱会する方もいるから心配
- ・周囲に認知症の人が多くなり心配
- ・認知症になったらどうしたら良いのか心配だし不安。ならない方法を知りたい

- ・夏が暑い・異常気象
- ・今は家事や身の回りのことを全て自分でやれているが、人に迷惑をかけられないので、できなくなったら・・・
- ・一人暮らしなので、家や畑のこと、自分が亡くなってからのことなどが心配
- ・空き家の増加が心配
- ・人と人との付き合いの希薄化
- ・人情も薄くなったように思う
- ・人口減少で人とのつながりが薄れる
- ・近所付き合いが希薄でさみしい
- ・一人暮らしだが、年々体力が衰え心細くなる
- ・地域とのかかわりがない人が特に心配
- ・町会行事が減っている
- ・文化祭や敬老会等がなくなり、楽しみがなく物足りない
- ・昔のように、もう少し賑やかになると良い
- ・回覧がおそい。出たい行事に出れないこともある
- ・男の人の参加がもう少しあるといい
- ・男性の参加者が多くなるよう、もっと何かできるのではないか
- ・特に不便や不安を感じたことは無い。今後も体力の続く限り今の2拠点の生活を楽しみたい
- ・今のところ特にない

エ これからやりたいこと。地域にこうなってほしいこと等について

- ・現状維持で暮らしていければ良いと思っている
- ・公民館が近いので、これからも足を運びたい
- ・町内公民館を利用して、集まりを続けていきたい
- ・将棋、カラオケ、麻雀、コーラスの集まりがあるので、今後も続けて参加していきたい
- ・死ぬまで居場所がほしい
- ・災害時に助け合いたい
- ・今後も活動を続けていきたい。いつまでも参加したい
- ・誘う側も諦めずに声かけを継続してほしい
- ・体力維持のため、いろいろ参加して頑張りたい
- ・体を丈夫にしたい
- ・なんでも挑戦したい
- ・元気で歳を重ねていきたい
- ・元気な内は外に出ること
- ・できる範囲でボランティア活動を続けたい
- ・健康で、仲間と楽しみをみつけていきたい

- ・地域のつながりで仲間が大事。この仲間ですーっと楽しんでいきたい
- ・体の動くうちは、畑仕事など働いていたい
- ・もうちょっと歩きたいけどねえ・・・
- ・趣味の手芸を続けていくこと
- ・健康に気を付けていきたい
- ・参加者同士交流を強めたい
- ・スポーツ系
- ・盆踊りがしたい
- ・子どもの行事（青山様・ぼんぼん）や町会温泉旅行や町会ソフトボール大会が復活したら良いかな
- ・地区内で子どもから高齢者まで、誰でも参加できる運動会を復活してほしい
- ・カフェ巡り、お勧めランチの店巡り
（一人では入りにくいのでみんなで巡って行きつけのお店をつくりたい）
- ・穏やかに暮らしたい
- ・ケガをしないように暮らしていきたい
- ・なるべく外に出て、家に引きこもらないようにしたい
- ・金儲け
- ・毎日、自分のできる範囲で暮らす
- ・マレットゴルフ、卓球、歌、体操等好きなことをやり続けたい
- ・自然が豊かで素敵な場所なので、自然がこのままなくならないでほしい
- ・住み良い町なので、変化に町会が対応できるようになると良い
- ・気軽に声をかけ合い、助け合えると良い
- ・時々、見回りとかをしていただいで、話し等もしていただければ少しは不安も解消できるのではと思う
- ・近所同士のつながりを大切にして、お互い気持ち良く暮らしていきたい
- ・今が一番幸せなので、望むことはない
- ・若い人たちの集まりが増えてほしい
- ・世代を超えて仲良く交流ができたらいいい
- ・高齢者が増えているが、そこに若者が入ってきて一緒に何かできれば良い
- ・松本の中心街に、乗り換えなく直接行くことができる交通手段の充実
- ・地区に「道の駅」をぜひ作ってほしいと思う
- ・買い物難民の対処法
- ・子どもたちのために、自転車及安全な道路環境を整えてほしい
- ・野菜の直売、加工品製造等、地区の人が意欲をもって働ける場ができると良い
- ・独自の特産品を開発してほしい
- ・アクリル画教室で絵を描きたい
- ・書道とか染め物教室などやってほしい
- ・身体を動かせるプログラムを継続してほしい

- ・みんなでDVDを見て楽しみたい
- ・仲間と一緒にバスに乗ったりして、お出かけや旅行がしたい
- ・不用品交換会、バザー
- ・みんなの掲示板
- ・習い事や趣味を続けていきたい
- ・若者が増えて行ってほしい。移住者が来てほしい
- ・空き家に誰か来て住んでほしい
- ・もう少し地区全体で楽しむことのできるものがほしい
- ・孤立する人をできるだけなくしたい
- ・自分の住む地域に蛍が飛ぶと良い
- ・家の中の片付け
- ・デイサービスでの友達作り
- ・自分の楽しいことだけして暮らしていきたい
- ・歳を取りたくない・・・

(3) 高齢者施設等利用者・ご家族・職員の“声”

ア 地域とのつながりや関り等について

- ・ある程度のとつながりがある
- ・隣り組などとのつながりがあり、今後もつづけたい
- ・地域との関わりは、行事・イベント等をとおしてある
- ・身体的に大変で、本人が参加を望まない（ご家族の方）
- ・住み慣れた地域なので、民生委員さん、ご近所の方とのつながりを大切にして、情報を入れてほしい（施設職員の方）
- ・あまりない。マンションに住んでいるが、2～3棟の方とはあいさつなど交わしている。深いおつきあいは望んでいない。施設の近くの皆様とはあいさつなどしたいと思う
- ・施設と自宅が離れているため、地域との関わりを持つのは難しい
- ・関わりはなし。良くわからない
- ・施設内での交流のみ。特に地域とのつながりを広げたいとは思わない
- ・つながりなし。施設内のみの関わりで良い。90歳を超えるとつながりがめんどろうに思う

イ 地域の人たちからのサポート・声かけ等の要望について

- ・学校行事や、地域のイベント等に行くためのサポートがあれば、もっと外へ出る機会が増えるのかなと思う
- ・近所の何軒かの方が、気にかけて声かけ等をしてきている（ご家族の方）
- ・お話しが好きなので、話し相手がいたら良い
- ・一緒に散歩をしてもらえるとうれしい
- ・施設にお越しいただき、お話を聞いて必要な支援や困りごとなどを共有していただければありがたい（施設職員の方）
- ・無理のない範囲でお手伝いしてもらえたらありがたい
- ・地震・大雨などの時の声かけがあれば助かる
- ・ヘルパーが来て、掃除などをしてくれるのでそれで充分
- ・わからない。思いあたらない

ウ 希望する地域の行事等について

- ・町会ごとの防災訓練。避難所までどのように逃げるのか。安否確認など、話し合う機会があれば良いと思う
- ・子どもとの交流をデイサービスセンターで（ご家族の方）
- ・施設にお越しいただき、一緒に行事等を楽しんでいただけたらと思う
(施設職員の方)
- ・福祉ひろばの100円喫茶やいきいきサロンに行ってみたい

- ・高齢者施設の見学
- ・身体が動かないから、参加は不可能
- ・出ることがおっくう
- ・デイサービスに行っているので充分
- ・特になし。わからない
- ・元気なら町会の道普請に協力したい

エ 地域での生活の中で心配な事・不安なこと等について

- ・災害時の対応。避難所になる場所は安全か・・・
- ・災害時の避難や避難所での生活。家族の状況等理解してもらえるか心配。避難所の情報をもっと知りたい（ご家族の方）
- ・空き家が多くなっているので、災害等が心配
- ・遠慮して話ができないことがある。なんでも話しかけて一緒に笑ってほしい
(施設職員の方)
- ・自分が障がい者になったら、どのような生活ができるのかするかを地域や学校、家族で話題にあがるが多くなるような世の中になってほしい
- ・特殊詐欺、強盗などが心配・不安
- ・店、病院が遠いこと。車がないといけない
- ・施設に入っているので自宅が心配
- ・頭の衰えにより、生活していく上でいろんなことが心配
- ・自分では何もできないこと

(4) 障がい者の方の“声”

ア 希望する地域のサポート・声かけ等について

- ・近所で声をかけ合い、集まる、避難する、助け合う、分け合うことができる
と良いと思う
- ・できない事を手伝ってくれる人、教えてくれる人がいるとありがたい
- ・歩行中に車が来た時など、安心して歩けるようにサポートや声かけなどをして
もらいたい
- ・週末などに、色々な体験ができる場があるとうれしい
- ・「頑張っているね」などの声かけをしてほしい
- ・家族と一緒に地域のお祭りの準備から片付け、運営などに関わってみたい

イ 参加してみたいと思う地域の行事等について

- ・夏まつりや公民館、神社のお祭りに参加したい
- ・遊園地でのイベント
- ・みんなで歌う、みんなで絵を描くイベントがあれば参加したい
- ・B型作業所、多機能型作業所を作ってほしい

ウ これからやってみたいこと・チャレンジしてみたいこと等について

- ・スポーツ（水泳、バスケットボール、サッカー、野球、ボーリング等）
- ・みんなで歌ったり、踊ったりしたい
- ・パソコンを使えるようになって楽しいことを考えたい
- ・ピカソの絵などを描きたい
- ・チャーシューをつくりたい
- ・小旅行、映画

エ これからどんな世の中になってほしいか等について

- ・今より平和な世の中
- ・みんな仲良く、それぞれの良いところを認め合える世の中になってほしい！
- ・大事なことはみんなで相談し合って考えていける世の中
- ・助け合っていける世の中
- ・いろいろな人がいるけど、自分たちを変な目で見ない
- ・障がいについてのことを地域・学校で話し合ったりすることが多くなるよう
な世の中になってほしい
- ・障がい者は障がい者のグループ（施設）、高齢者は高齢者のグループ（施設）
みたいに区別されているのは何で？みんなが交わる世の中が良い

(5) 子育て世代のママ・パパの“声”

ア 子育てにおいて松本の良いところ。足りないと思うこと等について

- ・自然が豊かで、近くで魚釣りや虫取りができるところが良い
- ・近隣に大小の公園、プール、キャンプ場などがあり、出かける先に困らない
- ・公園がたくさんあり充実している
- ・室内プールがララしかない
- ・水遊びができる公園が近くにあると良い。遊具があり安全に遊べる公園がほしい
- ・ネットで公園一覧と検索したら、公園情報が出てきてほしい
- ・歩いて行ける公園がほしい。ママ友が気軽に話せる場所がほしい
- ・整備されていない公園がある
- ・外で遊べるところは多いが、小さい子供が室内で遊べる広い施設がほしい
- ・園児が遊べるところが狭い
- ・子どもが安全に集まって遊べる施設が少ない
- ・図書館の過ごしやすさは、他の地域に比べると物足りない
- ・こどもプラザや児童センター等遊べる場所がある。イベントもありうれしい
- ・つどいの広場があちこちにあってありがたい
- ・つどいの広場があり、他のママや子どもとの交流ができて良い
- ・地区内の交流の場があるのでありがたい
- ・子どものイベントが多く、力を入れていると感じる
- ・出産前、妊娠中などに出かける場所がほしい
- ・インクルーシブセンターで発達相談ができる
- ・土日等、休日に無料で遊べる場所が増えたらうれしい
- ・土曜日もつどいの広場を開所してもらいたい（他市では開所している所も）
- ・雨天時や猛暑日に室内で遊べる場所がもう少しあれば助かる。室内アスレチックがあったら良い
- ・休日や雨天時に使える場所が少ない
- ・年中さん、年長さんが無料で遊べる場所がほしい
- ・未就園児が遊べるところが混雑していて、躊躇する
- ・公園の遊具に小学生が来ると、一緒にいるのは危険なので未就園児は遊べない
- ・こどもと食事をとれるスペースがあるとありがたい
- ・18歳まで医療費が無料なのでうれしい
- ・保育園の第2子以降無料制度
- ・保育園の一時預かりの無料クーポンがある
- ・給食費が無料になってほしい
- ・小児科受診は待ち時間がないのでありがたいが、ここは近くに病院がないので移動時間と待ち時間でだいぶ長時間になってしまう
- ・他市町村に比べ検診が少ない

- ・地区からの出産祝いがあればうれしい
- ・バス（中山線）の数を増やしてほしい
- ・小・中学校が1か所しかないので通学がとても不便。デマンドバスに乗り遅れるとアウト
- ・各地区にある福祉ひろばで、子育て支援をしているのはありがたいです。行政主体でなくても、子育てサークルとして会場を使えたことも良かった
- ・公共施設の建物の扉が押すタイプが多く、ベビーカーが入るのが大変
- ・南部すすすくの閉鎖が悲しかった
- ・つどいの広場や福祉ひろばの行事等、イベントなどがしっかり告知されていて、目にもつきやすいので参加しようと思える
- ・多くの大人の目があり、子どもたちのことを気にしてくれる。地域での活動も多く、たくさんの経験ができるところが良い
- ・地域の人たちが優しい
- ・子どもが少なく、子ども同士学校外で遊ぶことが少ない
- ・地区の行事に未就学児が参加して良いのか、小学生だけ対象なのか等がわからない
- ・子育て世代の情報が検索できない。ネット情報が不十分

イ 地域の先輩に相談したいこと。教えてほしいこと等について

- ・離乳食や子どもとの遊び方、ねんねトレーニングについてなど
- ・月齢の相談を対面でしたい。予約とか無しで気軽に相談したい
- ・食事やおやつのことについて
- ・子育てをしながら仕事との両立はどうしていたのか
- ・保育園の情報
- ・小学校に上がるまでにやっておいた方がよいこと。大切なこと
- ・中学生の先輩お母さんに、準備した方がよいことや、中学の様子を聞く機会があればうれしい
- ・地域移行の部活について
- ・通学路の学習
- ・高校進学時の通学について。部活動の移動手段について
- ・かかるお金について
- ・近所付き合いについて
- ・子どもの病院の情報
- ・松本でできるイベントなど子供たちが楽しめることは、どんなものがあるのか教えてもらいたい
- ・子どもの遊び場や習い事の情報
- ・キッズスペースなどのあるファミリー向けの情報
- ・幼稚園の夏休みや冬休みなどの長期休みはどこで遊んでいるのか

- ・手遊びなどの遊び方
- ・昔の遊び
- ・伝統行事のいわれ
- ・時代が違っているので、昔の子育て術はあまり参考にならない

ウ 参加してみたい地域行事や世代間交流イベント等について

- ・子どもが気軽に参加できるイベント
- ・子ども料理教室、パン教室、そば打ち体験
- ・きのこ採り
- ・農業体験
- ・キャンプをして火起こし体験
- ・きのこの駒打ち体験
- ・年齢の近い子どもの交流
- ・多世代で楽しめるイベント
- ・子どもと一緒にママ達でランチ
- ・地区文化祭
- ・季節を感じられるお祭や餅つきなど
- ・昔遊び体験
- ・親子体操
- ・親子レク（激しいものでなく楽しくできるもの）
- ・未入園時が保育園の運動会に参加したい
- ・児童館の行事情報がないので、参加してみたい
- ・子どもと親世代、祖父母世代の3世代交流
- ・世代間交流をしたいけど、そういったイベントがない。少ない
- ・未就園児の地域行事がない
- ・小学生のPTAは地域行事が盛んだが、そこに未就園児は入っていけない
- ・小学生のPTAが学区で別れてしまい、行事に参加しにくい
- ・定期開催のマルシェ、飲食やワークショップイベント
- ・駐車場が多いところでのイベント開催をしてほしい
- ・ねんねアート、手形アート、フォトパネル
- ・お得感のあるイベント
- ・今も町会サロンに毎月参加している。色々な話が聞けて面白い♪
- ・松本のイベントに関してあまり詳しくないが、季節ごとのイベントに行けるときは行きたいと思う
- ・中学、高校の情報がほしい
- ・町会のイベントの情報が手に入らない

エ 将来のお子さんに一言

- ・松本は良いところなので、どんどん外に出かけて行ってほしい
- ・すくすく健康に大きく育てね。大きくなるのが楽しみ
- ・何事もなく健康で元気に育てほしい
- ・元気に強く生き抜いてほしい
- ・友達がたくさんできると良いね
- ・自分もまわりも大切に、楽しく元気に過ごしてほしい
- ・たくさんの同世代のお友達と仲良く遊んで、のびのび優しく育てね
- ・自由にのびのびと育てほしい
- ・優しい人に育てほしい
- ・自立できるように
- ・自然豊かな場所でたくさん遊んだことなど、大きくなったら一緒に小さい頃の話をしたい
- ・松本で育った事を誇りに思えるような経験をたくさんしてほしい
- ・子どもたちを大切に思う地域の人々がいることを知り、安心して成長していつてほしい
- ・周りの方々に見守られて大きくなったことを忘れないでほしい
- ・たくさんの人に出会ってほしい
- ・色々な体験・経験をしてほしい
- ・今しかできないこと、自分のやりたいことにどんどん挑戦し楽しんでほしい
- ・生きてきて楽しかった人生だと思ってくれたらな

(6) 高校生・大学生等の“声”

ア 松本の「映える」ところ、「萌える」ポイント等について (自分の住んでいる場所や人の魅力はなに?)

- ・ 空気、水がきれい
- ・ やまびこドームのバラ公園
- ・ アルプス公園の北入口の景色
- ・ 安全な公園。自然たくさん公園
- ・ 山々に囲まれていて静か
- ・ 山と上高地線と一緒に見えるのが映える
- ・ 緑が多いので、風景が映える（鈴虫、田んぼ、畑・・・）
- ・ 川（用水路）のある風景や、花や山の景色がきれいな場所は写真を撮るのにとても良い（川に親しむ授業があった）
- ・ 夕方、西側の山の稜線が夕焼けに照らされた風景
- ・ 夜は星がきれいに見える
- ・ 松本城と周辺の景色。（松本城と桜。月と松本城）
- ・ 小学校の近く、しだれ桜が非常に映える
- ・ 深志神社のお祭の舞台曳行
- ・ 多くの方が地区のお祭などの行事に積極的に参加していること
- ・ 北アルプスや上高地などの自然と、松本城や縄手通りなどの歴史的景観
- ・ あがたの森の映画のようなロケーション
- ・ 山に囲まれている町並み。山がある町並み
- ・ ドラマ「白線流し」の舞台となった薄川
- ・ レトロな雰囲気縄手通り
- ・ ほど良い田舎がちょうど良い
- ・ 松本空港（スカイパーク）の景色
- ・ エアウォーターアリーナ
- ・ 時計博物館
- ・ 窪田空穂記念館（歴史を感じるので萌える）
- ・ 松本ぼんぼん
- ・ 年に一度のまつりのときは、花火を間近で見ることができる
- ・ 地域活動の活発さ
- ・ 若者（大学生）が多いので、若者が地域活動にも多く参加しているところ
- ・ よそから来た人にも親切に接してくれる
- ・ お裾分けの文化
- ・ 子どもと大学生の地域活動が盛んなところ
- ・ 三九郎（どんど焼き）
- ・ 縄手通り、中町通り、薄川、美ヶ原、多くの神社、草間彌生、弘法山、松本駅

- ・松本城、弘法山、芥子坊主、アルプス公園展望台、薄川（入って遊んでる）、中町、上高地、美ヶ原
- ・保育園、幼稚園が多い
- ・道がきれい
- ・おしゃれなカフェが多い
- ・温泉がたくさん
- ・果物（ぶどうやりんご）
- ・小中学生時代、地区の夏祭りや運動会が楽しかった
- ・小中学生時代、地区の文化祭で自分の作品が展示されたこと
- ・お盆や正月など、県外の親戚も集まる文化
- ・山崎貴監督
- ・朝、いつもあいさつしてくれるおばちゃん
- ・畑仕事をしたり、山に入って元気なおじいちゃん
- ・農家さんの知識（小学生の頃、アサガオづくりのノウハウを教えてもらった）
- ・あがたの森付近であいさつ運動をしている方々
- ・毎朝、島内駅で見守りをしてくれている方
- ・家の隣の公園の芝刈りを定期的にしてくれる方がいる
- ・松本駅周辺で、赤いゼッケンをしてゴミ拾いなどをしている地域の方々
- ・地元に誇りを持っている人たち
- ・松本市は、地域福祉の活動を頑張っている人が多いイメージがある

イ 地域の人たちに教えてもらいたいこと等について

- ・自分の祖先について（武士だったか等）
- ・松本城、旧開智学校、四柱神社、井川城址についての歴史
- ・松本ぼんぼんの歴史、成り立ち
- ・松本特有の文化（方言）など、松本のアイデンティティを知りたい。また、松本の歴史も深く正確に知りたい
- ・昔ながらの知識。伝承されている話
- ・大切に受け継がれてきた伝統や文化ってどんなこと？
- ・地域のお祭りなどの伝統行事（受け継がれてきたものを残したい）
- ・地域にまつわる昔話
- ・大昔の歴史ではなく、高齢の方が実際に体験してきた歴史を聞きたい
- ・この地域に住むようになった理由、きっかけ
- ・松本駅周辺や商店街が発展していった歴史など
- ・ここをどんな土地にしていきたい？若い世代に望むことは？
- ・地域の方々が子どもだった頃の遊び
- ・スマホのない時代は、情報発信とか連絡手段とか工夫していただろうから、そういう知恵を教えてもらいたい

- ・野菜の作り方
- ・松本の伝統品の紹介、おすすめ、つくり方
- ・郷土料理とか虫を食べる文化について
- ・おやきやぬか漬け（ぬか床）とかを教えてください
- ・蕎麦打ち
- ・美味しいごはん屋さん
- ・地元でおすすめの病院・お店
- ・地元の人だからこそ知っている景色
- ・薄川花火大会でしっかり花火が見える穴場スポット
- ・道祖神について
- ・松本てまりのこと
- ・信濃の国の歌について
- ・三九郎の組立て方
- ・方言はこの地域に継承されてきた大切なものだと思う。教えてください
- ・いろんな年代の方と関わりたい
- ・どんな思いで地域福祉活動に取り組んでいるのか聞いてみたい。そういったことから地域の「人」のことを知りたい

ウ 地域福祉・社会福祉のイメージ等について

- ・交通安全（見守り）
 - 例）子どもが横断歩道を渡っている時に、旗を持っている人。“松本走り”が減り、安全な街になると良いと思う
- ・いかなる人も活躍でき、いきいきと生活できるように支援すること。人々が追い込まれず、犯罪などに手を出さないような社会にすることが大切だと思う
- ・お互い（若者も高齢者も）が支え合い、どちらも成長していける思いやりがあふれた社会
 - ・みんなが協力し合って過ごすこと
 - ・地域の人助け合いの輪
 - ・地域の人が、一丸となって助け合うこと
 - ・地域の人との関わり
 - 地域の人と関わるのが好きなので、機会があればボランティアをしたい
 - ・地域の交流 →ボランティアに参加して、地域の人と交流すること
 - ・地域で困っている人がいれば助ける、手助けをするのが福祉だと思う
 - ・災害のことなど、いざとなった時に支え合える、話し合えること
 - ・自分にできることを善意ですること
 - ・障がいがあっても高齢になっても、みんなが各々のできること、持っている能力を活かして助け合い、それぞれの価値観を尊重して共に生きていくこと
 - ・全ての人が暮しやすく「やりたい」ができ、不自由なく暮していけること

- ・そこに住んでいる高齢者から子どもまで、様々な人がよりよい暮らしができ、幸せに生活すること
- ・老若男女が仲良く、平和で安全に暮らしていけるため人間の権利を守ること
- ・多様な人たち（子ども、高齢者、障がい者、外国人等）が誰も見捨てられない社会であってほしい
- ・地域の人たちとのつながりを大切に、多くの人が幸福に過ごせるように取り組むこと
- ・弱い立場の人を助ける
- ・地域の皆さんが安心して暮らせる社会
- ・1人ひとりが抱える困りごとをサポートすること
- ・地域福祉の充実が健康寿命につながる
- ・介護福祉士、看護師、社会福祉士らによる高齢者の生活支援や介護。デイサービスなど、その地域の中で高齢者や障がいのある方を介護
- ・あいさつ運動などの活動や取り組んでいる人たち
- ・あいさつとか社会・地域全体で関わっていく
- ・治安維持
- ・大きな病院が充実していること
- ・地域に住んでいるみんなが仲良くすること
- ・ボランティア
- ・近所の高齢化が進んでいることを感じる
- ・親世代も若者世代も地区の行事に参加したいと思わないので、新しいつながりをつくるのが困難
- ・地区（町会）の行事は、元々の人たちでまとまっている気がして参加しづらい。入って行きづらい・・・
- ・社会全体が大変だと感じている
- ・どこからが地域福祉、ボランティアなのかわからない
- ・自分から地域に関わったり、参加する機会がない。情報がない。少ない
- ・回覧などを若者は見ない（紙媒体の見直し）
- ・[社会福祉] = 社会的弱者に対して、国や県や市など公の立場からの援助
[地域福祉] = 住民同士が助け合う関係（雪かきやゴミ出しなど、困っていることを近くの人が助ける等）
- ・地域力を高めることが大切だけど、近所付き合いは少し煩わしい……。ちょうど良い関係性で地域の中でのつながりを考えることも必要だと思う

エ 福祉の観点で、どんな松本になってほしいと思うか等について

- ・「福祉ひろば」のように独自の施策をどんどん実践し、日本におけるノーマライゼーションのロールモデルとなるような街になってほしい
- 街中のバリアフリー整備、ユニバーサルデザインの推進など

- ・一人暮らしの高齢者を地域に入れて1人にさせない！
- ・高齢者を支える割合が少なくなってきているので、若い世代の介護福祉士の数を増やし、高齢者を支える割合が増えてほしい
- ・誰もはずかれない（除外されない）みんながウェルカムな雰囲気地域
- ・本来必要な人、本当に困っている人に福祉の情報が届くと良い
- ・安心・安全に暮らせるまち（災害時にも強くて安心できること）
- ・住民意識として、防災意識を高く持っているまち
- ・子ども、高齢者、国籍など関係なく協力し合える松本
- ・気軽にあいさつなどができて関わりやすい取組み。声をかけてほしい
- ・自分の思い（悩みや家族には言いづらいこと等）を気軽に話せる人や場所の環境が整うと良い。身近に話せる人があることが大切だと思う
- ・もう少し地区のことや、その中の人のことを知りたい
- ・交流が増え、全員が地区のこと、人のことを知る機会があれば良い
- ・コロナ以降、減っている行事もあるが、地域全体が協力して元気に！地区の行事が増えたら、関りを持ちたい
- ・松本らしいお祭りや伝統をなくさないでほしい

オ 地域の人たちと一緒にできそうなこと等について

- ・ゴミ拾い
- ・あいさつ運動
- ・夏祭り等に協力して、その後、意見交換などしたい
- ・カラオケ大会（友達と複数で）
- ・こま回し大会
- ・お祭りなどの屋台などのお手伝い
- ・お菓子パーティー
- ・小中学生の頃は地域の行事に参加する機会がたくさんあったけど、高校生になって関りが減ってさみしい
- ・情報を知らせてもらい、声をかけてもらえたら地域行事のお手伝いをしたい！
- ・強制的でも参加を促されれば、結局中学生時代の友達にも会えるし、呼んでもらえたら参加する
- ・オレンジカフェとか高齢者のサロンとかあるけど、「若者カフェ」みたいなことも地域の公民館とかであれば、若者のつながりができるかも・・・
- ・普段から地域の人との接点を増やしたいけど、どんなことを話したら良いか・・・
- ・お互いに深入りせずに、まずはあいさつからできれば良い
- ・ゴミ出しなどで地域の方と顔を合わせたときに、おしゃべりとかできれば・・・。
- でも朝早い時間は苦手・・・
- ・自分が興味のある地域行事（歴史・文化）に参加した時は、共通の話題で地域の方とお話することができて楽しかった。共通の話題があれば話が盛り上がる

3 “声”の協力者の紹介

各地区社会福祉協議会	各地区・町会	民生児童委員
元民生児童委員	いきいき百歳体操推進者	食生活改善推進協議会
赤十字奉仕団中山分団	健康づくりサポーター	農村女性協議会
上土カフェ	思いやりカフェ	公民館カフェ
ボランティア部会	ボランティア中央	プチ送迎ボランティア
サロンひまわり	カフェすいれん	パイナップルカフェ
太子堂町会サロン	つながろう会	白ゆり会
蕎麦同好会	おかだお気軽お助け隊	つむぎちゃんサポート協力会員
いきいき百歳体操参加者	百歳体操愛好会	湯ノ原百歳体操の会
棚峯100歳体操	新橋健康クラブ	北町会はつらつ会
相澤東病院健康教室	ヨガの会	寿うたごえ同好会
ほうせん花	お達者雀	だべる会
エルダー体操	縫い物の会	ひろば喫茶
上和泉お茶のみ会	千石女性部マレット愛好会	みんなのマルシェ
浪漫茶房	岡の宮町会木曜会	岡田町サンサンかふえ
各地区・町会サロン	各地区福祉ひろば	リーベにいむら
デイサービスセンター心和荘	北部デイサービスセンター	つむぎちゃんサポート利用会員
第2コムハウス	ぽんぽこりんのひろば	親子料理教室
城東地区すくすくキッズ	おひさまサークル	松本大学 地域づくり考房『ゆめ』
松本大学学生	信州大学学生	信州大学モルックサークル
松本短期大学学生	松本看護大学学生	エクセラン高等学校福祉課
松本深志高等学校生徒	松商学園高等学校生徒	おおぞら高等学校生徒
高綱中学校生徒	松本市防災連合会 防災土部会	
行政関係地区担当職員	地域包括支援センター職員	
その他おおぜいの個人の皆さん		(順不同・敬称略)

ご協力ありがとうございました。

地域の“声”＝地域の“お宝”集

第5期松本市地域福祉活動計画
～みんながつながる福祉の取組計画～
(令和8年度～令和12年度)

《別冊》

社会福祉法人 松本市社会福祉協議会
長野県松本市双葉4番16号
松本市総合社会福祉センター5階
電話：0263-27-3381
FAX：0263-27-2239
Email：chiiki@syakyo-matsumoto.or.jp